

17 術中迅速病理組織診断件数

● 項目の解説

術前診断の難しい疾患においては、手術中の病理診断に基づいて手術方法や手術範囲が選択されます。限られた手術時間中に迅速かつ正確な病理診断を行うには、院内の体制作りが重要です。術中迅速診断は一刻を争うものであり、切片の用意から診断まで院内で完結する必要があります。「最後の砦」機能を持つ国立大学病院として、高度な医療が総合的に提供されることを示す指標です。

● 当院の実績



単 位 | 件

期 間 | 年間

備考・コメント

平成27年度国立大学病院平均値
 (100床あたり) 99.53件
 (平成27年度当院 100床あたり 90.63件)

● 定 義

医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。